

令和6年度、「第42回子どもの主張意見文コンクール」において、地域内、中神小学校2名・玉川小学校1名の3作が入選されました。お祝いの記念としての意見文を掲載させていただきます。

地域の皆さん、この子どもの主張意見文をご覧ください。

入選 「階段や段差がないまちづくりに」

中神小学校 六年 小林 芽依

私は、昭島市には階段や段差が多いと考えています。その上、昭島市の階段や段差は他の市と比べても高いと思います。昭島市は、高齢者や、幼い子供など幅広い年齢の人たちが住んでいるため、階段や段差が多くてその上高いと疲れたり、上りづらいと感じたりする人も多いのではないのでしょうか。なので、階段や段差を減らしてみんなが暮らしやすい街にしたいと私は考えました。

私は水泳の試合で、よく江東区に行っています。そこで、江東区の階段や段差に注目してみました。そうしたら、江東区の階段や段差の数は、「少なくて低い」ということが分かりました。私は毎回、その階段を上るたびに、「上りやすいな」と思っています。江東区の階段は段数がそこそこあるのに、どうして疲れないのだろう、とっていました。そこで、「段差や階段の数が少なくて、低い」ということ以外にどうして上り下りしやすいのか、考えてみることにしました。その理由以外に、「階段の幅が広い」ということがわかりました。横だけではなく、縦にも広いのです。階段の工夫だけではなく、他にも工夫がありました。それは、スロープです。スロープは階段と違い、坂になっているため、車いすの人も簡単に上り下りすることができます。さらに手すりがついているので、足腰の不自由な人にもとても使いやすいと思います。

このように、江東区の階段や段差には、たくさんの工夫があるということがわかります。「階段や段差の数が少ない」、「幅が広い」、「高さが低い」、

「手すり付きのスロープがある」の、4つの工夫です。階段や段差はとても便利ですが、昭島市のように、「段差が多くて高い」と、疲れてしまうこともあります。ですがメリットもあります。それは、運動するために使うことができるということです。私も試合で、体を動かすときに、よく階段を使っています。しかし、快適に過ごしたいという考え方だと、階段や段差は少ないほうが良いと思います。

みんなが快適に過ごせるように、昭島市の階段の段差の数は少なくし、高さは低く、幅を広くする必要があります。階段や段差以外にも、スロープも増やしたほうが良いと思います。はじめに言ったように、昭島市には幅広い年齢の人たちが暮らしています。その幅広い年齢の人たち全員が気持ちよく、快適に過ごせるように、階段や段差は少なくしたほうが良いと、私は考えています



12月・1月活動予定

部会名		日程	開始時間	場所	部員数
運営委員会		1月 9日(木)	午後7時～	朝日会館第2集会室	
地域活動部会	定例会	1月 21日(火)	午後7時	朝日会館コミュニティルーム	48
防犯防災部会	定例会	12月 24日(火)	午後7時～	朝日会館コミュニティルーム	26
街並み部会	定例会	1月 15日(水)	午前10時～	玉川児童遊園	13
芸能部会	定例会	1月 19日(日)	午後3時～	朝日会館コミュニティルーム	9
広報部会	定例会・休会				9
自然と親しむ部会	定例会	12月 25日(水)	午後7時～	朝日会館コミュニティルーム	35

※発行月第4週～翌月の活動予定です。記載のない部会は、事務局にお問合せください。